

情報提供日: 令和8年6月16日

本格的な台風シーズンに備えて、市内全11分団約150人の消防団員が参加予定 龍ヶ崎市消防団が水害現場での対応を学ぶ水防訓練を実施(6/21)

龍ヶ崎市消防団(団長:渡邊孝)では、本格的な台風シーズンに備え水害現場での対応を学ぶ水防訓練を龍ヶ崎市小貝川市民運動公園(龍ヶ崎市川原代町)で令和8年6月21日(日)に実施します。

本訓練は、市内消防団全11分団約150人が参加予定。市内で発生した牛久沼の越水被害など過去の水害の教訓を踏まえ、台風やそれに伴う集中豪雨による水害を想定した実践的な内容で行うものです。

団員の知識と技術の向上を図るとともに、実際の災害現場における対応力の強化を目指します。水防工法の基本である「土のう作り」から積み土のう工に加え、昨年から実施している市で保有する止水板、水のうなどの資機材も活用し、現場に即した水防工法を消防団員自らが実施します。

あわせて、稲敷広域消防本部龍ヶ崎消防署との連携体制の再確認および強化を図ります。

報道機関の皆様におかれましては、当日の取材を賜りますようお願い申し上げます。



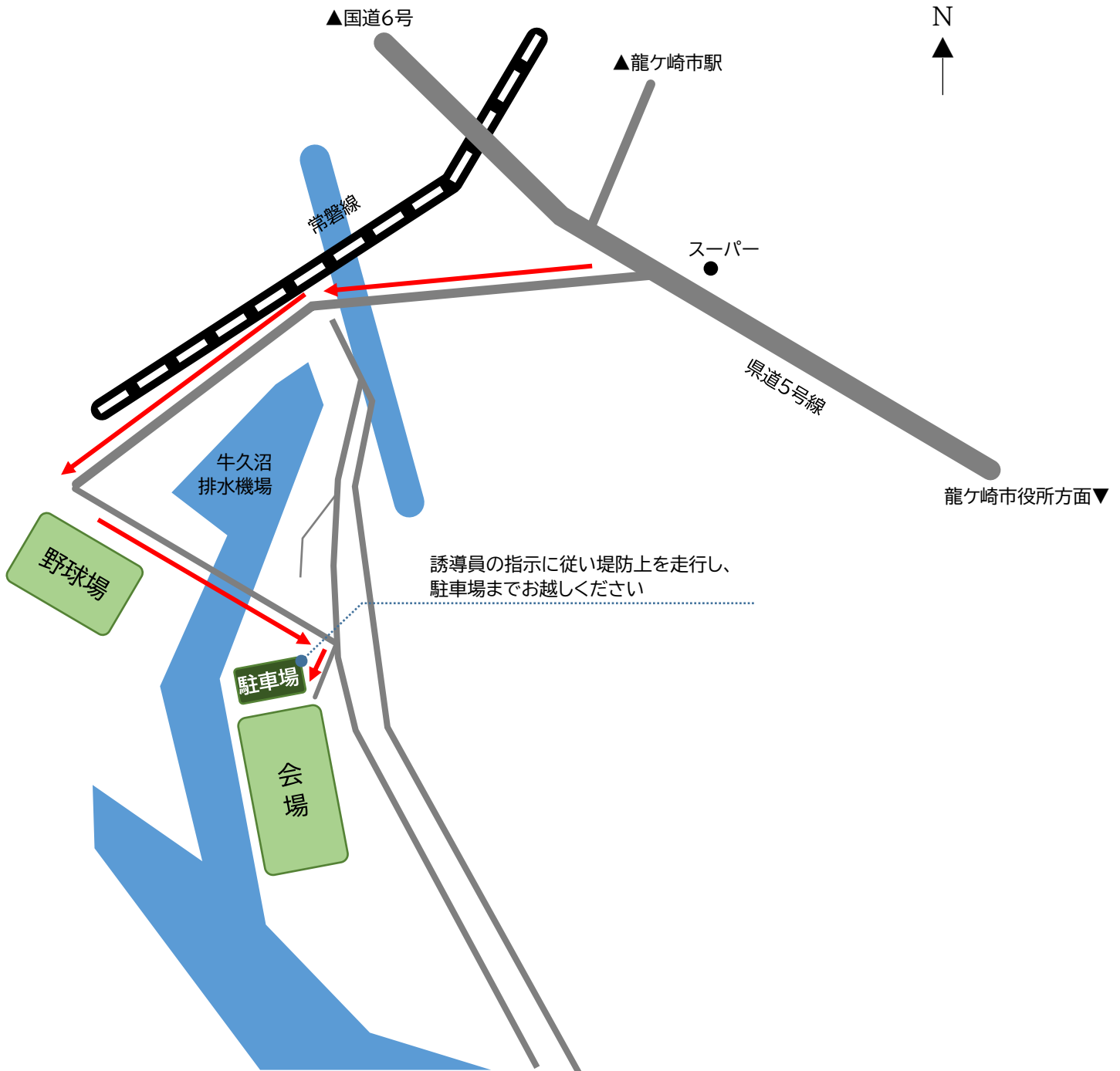
過去の水防訓練の様子

■日時	令和8年6月21日(日)午前8時30分から午前11時30分まで(雨天決行)
■場所	龍ヶ崎市小貝川市民運動公園(所在地:龍ヶ崎市川原代町字関33番地1地先)
■主催	主催:龍ヶ崎市消防団 後援:稲敷広域消防本部龍ヶ崎消防署・龍ヶ崎市
■詳細	【訓練想定】 台風12号が関東地方を直撃し、小貝川上流では3日間の総雨量400ミリ以上に達し、小貝川の水位は急激に上昇中である。 天候は回復したが、水海道水位観測所では、氾濫危険水位を超過したため、緊急に水防工法を行う必要が生じ、消防団の出動を要請する。 【訓練内容】 土のう作り/積み土のう工/改良積み土のう工/止水板工/水のう工
■資料	・訓練会場・駐車場 位置図 ・水防訓練時間推移表 ・訓練内容イメージ

担当課

龍ヶ崎市 総務部 防災安全課 消防グループ
担当者:田中・吉川(たなか・よしかわ)
連絡先:0297-60-1514(直通)

訓練会場・駐車場 位置図



水防訓練時間推移表

区 分	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
消防団員集合	(8:00)				
消防団員整列	(8:20)				
開会式・団長・来賓挨拶	(8:30~8:50) (20分)				
水防工法開始	(9:00)				
土のう作り	(9:00~9:30) (30分)				
積み土のう工	(9:30~9:50) (20分)				
改良積み土のう工	(9:50~10:10) (20分)				
休憩	(10:10~10:20) (10分)				
止水板工	(10:20~10:30) (10分)				
水のう工	(10:30~10:50) (20分)				
土のう積込	(10:50~11:10) (20分)				
閉会式・講評	(11:10~11:20) (10分)				

訓練内容イメージ

土のう作り

- 基本的に2人1組で行う、土のうを作る訓練です。1人が袋を広げ、もう1人が土を入れ、最後に袋の上部をねじりながら縛ります。



積み土のう工

- 土のう同士の間接合部(継ぎ目)の上に、上段の土のうの中心が来るように積み上げて壁を作る工法です。



改良積み土のう工

- 通常の積み土のう工に補強材(杭・シート等)を組み合わせ、より高い強度と安定性を確保した積み土のうを作成する工法です。



止水板工

- 止水板を設置し、浸水を防ぐ工法です。
(川からの越水を想定し、訓練時は水槽車から放水を行います。)



水のう工

- 3個の水のうを連結させ、壁面を作る工法です。
(本来は水を入れますが、訓練時は空気を入れて行います。)

